

豊かなまちづくりとひとづくり～下津 DHC クラブ

海南市下津町を中心に様々な活動を展開しているまちづくり団体「下津 DHC クラブ」。「ふるさとに夢 (DREAM) と希望 (HOPE) を持って挑戦 (CHALLENGE) する」を合言葉に活動を続け、今年 10 月に設立 30 周年を迎えます。その活動を追います。

「ふるさと創生」が

1988年当時の竹下内閣が実施した「ふるさと創生事業」をご記憶の方も多いのではないのでしょうか。

全国のほぼすべての市町村に一律1億円を交付。原則としてその使途は問わないこととされ、大きな話題となりました。当時の海草郡下津町は人材育成を目標として、意欲ある町民を海外に派遣する研修事業を6年間実施。この事業にはじめて参加した町民18名が中心となってこの「下津 DHC クラブ」を結成しました。

もともとが海外派遣事業に出向いた町民のみなさんによって作られたクラブということもあり、国際交流活動にも当初から積極的町立学校に外国語の指導手として滞在していた外国人や和歌山県内への留学生などを対象に町の文化を紹介したり、ホームステイの受け入れをおこなったといった活動をおこなっています。

様々な部会が活躍

クラブ全体としてはまちづくりに関する講演会や調査研究活動のほか、住民に豊かな文化に触れてもらいたいとしてコンサートなどを実施。そのほかクラブ内にボランティア、国際交流、環境美化などの各種委員会を設置し、各々が活動を展開しています。

調査研究活動の一環では、町民や町を訪れる観光客の視点に立つて、町内の様々な案内標識の整備状況を独自に調査し、その結果を提言書にまとめて町に提出したところ、その提言をもとに町が標識を58ヶ所に新設するといった成果をあげました。



(上) 馬頭琴の演奏とホーミーを披露するサウガゲレルさん (下) リンベと手拍子に合わせて曲を楽しむ (いずれも和歌山市立紀伊小学校にて)



モンゴル音楽の
出前授業
周辺の小学校に提案したところ、今年度は和歌山市と海南市の小学校合計3校で出前授業の開催が決まり、モンゴルの名誉文化大使を務める佐藤紀子さんと、モンゴル伝統芸術協会会長を務めるM・サウガゲレルさんを招いた授業が実現しました。

そしてサウガゲレルさんが、馬頭琴とホーミーを披露。ホーミーとは一人で2つの高さの音を同時に歌うモンゴルの伝統的な歌唱法。子どもだけではなく学校の先生も興味津々な様子。そして、鼻から息を吸いながら演奏するため口による息継ぎが不要という伝統的な奏法で横笛「リンベ」を演奏。最後には「世界で一つだけの花」を子どもたちの手拍子と歌に合わせて披露。子どもたちも終始楽しそうにモンゴルの伝統音楽に触れていました。



これまで200回以上モンゴルを訪ねたことがあるという佐藤さん。子どもにもわかりやすくモンゴルの文化を紹介。

課題はやはり…

下津港への船舶の寄港が年々減るなど、下津の街なかのにぎわいが失われつつあるといわれています。また、人口減少や少子化も大きな課題。また文化活動には外部の支援を受けづらいという事情もあり、モンゴル音楽の出前授業も困難になり始めているといえます。



次回の「わかつく」は
和歌山に拠点を置く企業のなかで、本業だけではなく、本業以外の分野でも積極的に地域貢献をおこなっているところが増えていきました。その事例をご紹介します。わかつく 232号は3月13日付です。
※ 事情により内容が変更になる可能性があります

まずは自らが被災しないために。そして万一地域が被災したときのために。

NPO・ボランティア団体のための防災講座

近年、大規模な災害が多発しています。大規模災害が発生した被災地ではNPOやボランティア団体のニーズが急激に増加する傾向が多くなっています。まずは、NPO・ボランティア団体自体が災害にあわないことが重要です。

災害のなかでも「気象災害」については、いわゆる「警戒レベル」の導入など、起こりうる災害が事前に予測できるようになりました。気象災害に関する様々な情報を学び、気象災害から自分たちの身を守るとともに、万一わたしたちの地域が被災したときに、NPO・ボランティア団体として何ができるかを考えます。

【日 時】3月2日(月) 18:00～19:30
【場 所】和歌山市地域フロンティアセンター (フォルテワジマ6階)
【参加費】無料
【内 容】① 気象災害に関する講座 講師：大西 実さん (和歌山地方気象台 土砂災害気象官)
② 被災時にできることを考えるワークショップ 講師：志場久起 (和歌山県 NPO サポートセンター副センター長)
【対 象】NPO・ボランティア団体で活動されている方
【定 員】25名 (事前にお申込ください)
【お申し込み・お問い合わせ】
和歌山県 NPO サポートセンター
TEL 073-435-5424 FAX 073-435-5425 E-mail info@wakayama-npo.jp
【主 催】和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会、和歌山県 NPO サポートセンター



～そうだったのか！非営利団体・ボランティアの広報最初の一步～

NPO・ボランティアのための広報・初級編

NPO・ボランティア団体は、活動への参加の呼びかけ、ボランティアの募集、支援者の募集など、様々な場面で「広報」する機会があります。

どんな広報をすれば、市民のみなさんに伝わりやすいのか、NPOでの広報実務経験の実績が豊富な石井さんから学びます。

【日 時】3月7日(土) 14:00～16:00
【場 所】和歌山市地域フロンティアセンター (フォルテワジマ6階)
【参加費】300円 (資料代)、ご自身の団体の広報物をご持参ください。
【講 師】石井大輔さん (「ファンドレイジングのレシピ」代表 / ファンドレイジング・コーディネーター)
【対 象】NPO・ボランティア団体で活動されている方
【定 員】30名 (事前にお申込ください) こちらからスマートフォンでお申し込みいただけます
【お申し込み・お問い合わせ】
和歌山県 NPO サポートセンター
TEL 073-435-5424 FAX 073-435-5425 E-mail info@wakayama-npo.jp
【主 催】和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会、和歌山県 NPO サポートセンター

